

平成 21 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

# 刑 法 問 題 紙

A 日程

平成 20 年 10 月 26 日

16 : 00 ~ 17 : 30 ( 90 分 )

( 120 点 )

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

## 問題 1 (60 点)

甲と乙は、交通事故を装い入院保険金を詐取することを企てた。某日、甲は、当初の計画どおり、信号待ちで停車中の乙の自動車に自車を追突させたところ、乙がブレーキをかけていなかったことから、乙車両が交差点に進入し、右側方から交差点に進入してきたA運転の大型トラックに追突され、乙の車は大破し逃げ遅れた乙は死亡した。

甲の罪責を論ぜよ。

## 問題 2 (60 点)

甲と乙は、宝石商のAを殺害してその所持する宝石を強取しようと考え、まず甲が宝石の取引斡旋にかこつけてAをホテルの一室に呼び出し、買主が別室で待機しているかのように装って「買主に現物をみてもらうから」と欺いてAから宝石を受け取り、そのまま持ち去った。その後乙がAのいる部屋に赴き、Aをピストルで射殺して逃走した。

甲、乙の罪責について論ぜよ(特別法違反は除く)。